

## 国際教養学部平成二十八年度 卒業研究タイトル一覧

### 【言語文化系】

#### ・伊藤 進 ゼミナール

エグエズ チュタ ガリルイス	移民大国フランスで暮らす子どもたち —学校教育・家庭・地域の視点から同化を問う—
石井 桃子	フランスにおける失業問題 —「新しい貧困」の解決に向けて—
大島 万侑	カカオ生産を考える —チョコレートの過去と現在—
加藤 真央	『星の王子さま』に隠されたメッセージ —世界中で愛され続ける理由—
金田 小百合	シンデレラストーリー —ペローからウォルト・ディズニーへ—
朽名 恵里	排除される移民 —「共和国モデル」の目指す先—
久野 花佳	フランスにおけるユダヤ人迫害 —エレーヌ・ベールの日記をもとに—
小西 玲未	宗教的観点からみるワイン文化史
内藤 瑞希	バレエの魅力 —パリ・オペラ座バレエの歴史をたどって—
中村 航	フランスと日本の教育比較
服部 法子	ブリア＝サヴァランからみる美食学 —ブリア＝サヴァランの歴史的・現代的意義—
原 優子	1920年代 狂乱のパリのカフェ —文化の交差する場として—
堀場 真梨乃	女性が纏う戦略的な美しさ —19世紀パリの高級娼婦から見る—
馬瀬 里佳子	クロード・ドビュッシー —音楽と視覚芸術の関連性—
山田 みなみ	「ライシテ」をいかに考えるか —自由と平等の <small>はざま</small> 間で—

#### ・木越 勉 ゼミナール

口羽 舞	スペインの女性の社会進出の現状
氏原 一樹	スペイン映画における字幕の翻訳
小澤 美希	スペイン料理の多様性 —外から受け、外に与える影響—
久世 萌子	スペインと日本におけるLGBTを取り囲む環境について —そこから考える日本がLGBTにとって住みやすい国となるためには—
越山 佳純	ハボン姓と慶長遣欧使節

坂井田 沙織	たばこの文化史
鹿野 修平	キューバのアメリカ化
高瀬 佑佳	メキシコ壁画運動の大規模化 —4つの発展要因—
田中 里奈	ラテン語派生のスペイン語と英語の構造 —スペイン単語と英語単語の比較研究—
玉利 汐音	二つのタンゴ
坪井 真衣	メキシコにおける麻薬産業について
中村 公美	日本の観光政策 —観光立国スペインを例に—
永田 れな	日西関係の形成と今後
花田 祥子	カタルーニャ・ナショナリズムはどのように形成されたのか —「中央集権化」と「民族観」の視点から—
東川 泰子	ことわざから見るスペイン
松尾 琴恵	コーヒー生産とフェアトレード
水口 友里	永遠の未完成教会 ～サグラダファミリア教会～
水谷 早希	スペイン外交の特徴
村松 夕香	メキシコと日本の宗教的歴史の比較 ～キリスト教に焦点を当てて～
吉川 保菜美	女性活躍社会に向けて ～歴史における女性の地位変遷より～

#### ・イミック・アレクサンダー ゼミナール

小川 莉央	自己犠牲から見る愛するということ
加藤 和真	コーヒー産業と流行
黒田 涼太	～治療から予防へ、日本の医療の今後の課題～
山内 佑唯奈	日本の少子化問題の原因と解決策

#### ・安村 仁志 ゼミナール

増田 成美	ペチカと「赤のコーナー」 ～ロシア人の心の拠り所について～
市野 文隆	「ロシア人についての印象」に関する考察
遠藤 杏菜	ユーリー・ノルシュテインの作品が評価される理由 —『霧につつまれたハリネズミ』を中心に—
佐野 沙知子	ロシアの絵本が翻訳され日本の教科書で使われるのはなぜか —『おおきなかぶ』を中心として—
高瀬 美春	文化政策から見るメイエルホリド ～十月革命以降を中心に～

### ・張 勤 ゼミナール

中垣内 優希	広告からみる日本と中国のスポーツ
加納 麻衣	色からみる中国人の考え方
草深 真優	言語表現から見る中国人と日本人の文化・価値観の違い —オノマトペを中心に—
後藤 歩美	中国人の名前からみる社会の変化
柴田 結未	日本と中国に見る食文化の違い
平田 絢乃	新華僑の在り方：日本とアメリカを比較して
眞野 竜次	中国の空気汚染 —問題解決への道—
水谷 幸世	現代中国の外交戦略と経済政策

### ・都築 雅子 ゼミナール

後田 莉乃	映画『ズートピア』における日本語字幕と吹き替えの比較
堀内 皓史	シャツ、ジーンズ、スニーカーの起源と歴史：機能の多様化
伊藤 咲	日英言語表現にみられる社会・文化的考察
北浦 優華	ハリー・ポッターの原書と翻訳の比較 ～視点の移動～
作野 里紗	ジャマイカ人のアイデンティティー —ラスタファリ運動におけるイデオロギー論—
佐藤 智里	「Shall we ダンス？」と「Shall we Dance？」 —リメイク映画にみられる日米文化・価値観の差異—
鈴木 温子	オノマトペの考察 —日本昔ばなしの英語翻訳について—
中森 美咲	ナーサリー・ライムの教育利用
野寄 月菜	日本映画における日英翻訳に関する考察 —ジブリ作品「コクリコ坂から」より—
はが 汐里	ディズニー映画における女性観の変遷 —フェミニズムとの関連性—
三浦 智保	日英早口言葉の音声学的・音韻学的考察
宮野 真里奈	I モードと D モード —「Charlie and the Chocolate Factory」英語版・日本語版を比較して—
三輪 真梨奈	和歌における英語訳 —百人一首を題材として—
民田 明里	女性ミュージシャンと歌詞から探る日米の女性像
持田 愛実	ディスコース・マーカーの考察と検証 —海外ドラマ Glee より—
矢島 明香里	戦国アニメにおける敬語・役割語の英語翻訳の考察 —アニメ「犬夜叉」より—
安井 みづき	小学校英語教育の必要性について考える
吉山 恵美利	日本漫画外国語翻訳版における擬音語・擬態語の訳され方 —『ドラゴンボール』日本語オリジナル版・英語版・中国版の比較を通して—

## 【思想文化系】

## ・松浦 明宏 ゼミナール

江崎 萌恵	おもてなしの海外輸出は可能か —日本と西洋のおもてなし文化の違い—
野中 美那	クローン技術を人間に適用する際に生じる諸問題
石垣 朱音	現代日本人の宗教観
市川 涼太	死刑制度は存続されるべきか否か
川口 侑真	喫煙者の増減について
福谷 匡啓	ドイツの移民問題と外国人受け入れ ～多文化共生社会を目指して～
藤井 悠大	観光立国日本を目指しさらなる外国人旅行者誘致へ
細江 まどか	SNS と不適切投稿 —SNS の上手な使い方を考える—

## 【歴史文化系】

## ・多田 哲 ゼミナール

波多野 護	吹奏楽の歴史
岩田 真典	アボリジニの歴史 植民地化から現在
小野田 有希	テロリズムの歴史 —第1次世界大戦から2000年代までの、西洋におけるテロリズムの目的と手段の変遷—
武田 亜美	20世紀のファッションの歴史
平林 千賀	ディズニーとアメリカ文化の歴史
小川 翔子	ギリシア神話と古代ギリシア人
加藤 春輝	鄧小平の改革・開放政策
近藤 嘉孝	アメリカ英語史 19世紀以降におけるアメリカ英語
佐藤 志帆	シンガポール —躍進の影に隠れた諸問題—
田中 貴大	ASEAN の歴史 —日本との関係を中心に—
中西 里奈	ジェンダー論からみるヨーロッパのファッション史
丹羽 由子	日本と中国の歴史認識問題
日比野 史弥	ビスマルク —ドイツ帝国の心臓—
松橋 遥	アドルフ・ヒトラー —その生涯と思考の変化—
水上 貴斗	アジア通貨危機 —IMF とマレーシアの対応—
宮村 彰吾	スペイン国内における民族独自性 —バスク・カタルーニャ—
森本 奈緒子	ヨーロッパにおける人種差別意識

## 【国際社会系】

## ・金 炫成 ゼミナール

山田 加奈	ファッションスクールの実態と未来のファッション業界への期待
荒井 宥人	自己啓発本の分類
石川 祐	公立美術館が発展し続けていくためのヒント —豊田市美術館の事例—
大竹 千翔	日本女性の化粧の歴史と現在
金子 実央	1990年代以降のスペインの失業問題 ～実態, 原因, そして取り組み～
黒田 祥子	日独における犬の社会的位置づけの相違
古仲 沙織	これからの教科書の姿
小松 拓矢	女性起業家の実態と特徴
齊藤 美香子	これから求められるホテルの需要は
佐伯 香月	インドシナ難民, 歴史そしてメディア
竹内 朋	なぜ村上春樹は世界で読まれるのか
鶴田 理奈	青年海外協力隊の二面性
古江 竜太	人口減少 —事例研究を通して—
丸山 あい華	経済記事からみる「女性の働き方」と企業の取り組み
宮本 史菜	岐阜繊維問屋町の歴史 ～なぜ, 岐阜問屋町は衰退してしまったのか～
村岡 葉月	日本のLCCの在り方
森 遥奈	『星の王子さま』から見える生き方
和田 将平	服装からみた時代別流行の特色

## ・ましこ ひでのり ゼミナール

長尾 健明	日本における産業用ロボット市場の成熟と未来
安田 昇平	ベンチャービジネスの市場動向と勝因 —ガンホー（ゲーム業界）とユニクロ（アパレル業界）のケースを中心に—
稲塚 友里子	未婚化・晩婚化による問題点と改善点
岩尾 満帆	現代日本におけるワーク・ライフ・バランス —国際比較をもとにした日本の過去・現在・未来—
木村 藍	飢餓と隣り合わせの現代フィリピン —絶望的貧困の歴史/現状/展望—
篠原 佳奈子	ひろがる日本食ブームと課題 —北米での定着動向を中心に—
水流 愛香	現代アメリカにおける家族の変容 —TVドラマ『フルハウス』『フラーハウス』の比較を中心に—
野原 麻愛	成功事例から伺える地域おこしの成功要素条件
村木 志帆	発展途上国における国際リユースの在り方 —ボランティアかビジネスか—